

「ドンドン語ろう！with大学生」 平成29年11月12日 熊本学園大学 意見交換内容 参加者：12名

No.	ご意見	回答	局	担当課
1	秋の園遊会で、陛下とはどのような話をしましたか。	<p>【市長】</p> <p>園遊会への出席は大変ありがたいこと。2,000人以上の方が招待される。今回2回目の参加だったが、熊本地震があったということもあり、特別に天皇皇后両陛下からお言葉を賜り、大変光栄だった。</p> <p>両陛下から、地震のあった自治体の市長に対するねぎらいのお言葉をいただき、本当にありがたいお言葉であった。市民を代表して、両陛下に対しお礼を申し上げた。私が手術したという情報も両陛下はご存じで、参加者に関する情報も事前に入力されておられる。両陛下とお話した後、次は皇太子殿下や紀子様、真子様などそのほかの方ともずっと話が続く。皇太子殿下におかれては、桜町再開発や熊本駅前整備のことなど熊本も新しいまちづくりの取り組みをしているようですねという話もされ、驚いた。秋篠宮殿下とは熊本城の石垣の角度や石積みのことなどをお話させていただいた。</p> <p>大変緊張したが、今でも思い出すと緊張する気分である。</p>	政策局	秘書課
2	市長はツイッターをされているが、私も拝見している。ツイッターをはじめたきっかけは何か。	<p>【市長】</p> <p>2007年頃だったと思うが、熊本県議会議員のときに始めた。ソーシャルネットワークの研究者の方に紹介されてツイッターを始め、やってみたら面白かった。政治家になった翌年からホームページ上で「今日の独り言」として毎日日記のように発信していたが、その代わりになるものとして始めたところ、匿名のためひどいことを書いてくる人もいたのでしばらくやめており、どちらかというと匿名性がないフェイスブックの方がいいかなと思っていた。</p> <p>しかし、あるとき、ツイッターは匿名なので、批判的なことも書かれるが、フェイスブックでは実名が出るため、いい意見ばかりが来てしまうことに気づいた。政治家としていい意見ばかり聞いていてもいけないと思った。ツイッターでは批判的な意見もダイレクトにメッセージが来るため、参考にさせてもらっている。</p> <p>市長になってから、「目覚めの一曲」として自分が聞いている音楽を紹介したところ、市長と音楽というのは意外性があるということで広がっていった。</p> <p>そのような中、地震のときなど、市長として広く情報発信できるツールとしても使いやすいことに気づき、ツイッターを利用してボランティア募集について情報発信したところ、1000人くらいの方が来てくれた。大事なことは、使い方だと思った。</p> <p>ツイッターは、強く主張するメディアではないと思うので、独り言のようなことをつぶやきながら、日常の市長の息づかいというものを感じてもらいつつ、いざというときに役に立つ、そのようなツールとして利用している。市長というものを少し身近な存在として感じてもらえたらという思いである。</p>	政策局	秘書課

「ドンドン語ろう！with大学生」 平成29年11月12日 熊本学園大学 意見交換内容 参加者：12名

No.	ご意見	回答	局	担当課
3	<p>市長は情報発信を大切にされているが、大学生に対しておすすめのツイッター活用方法があれば教えてほしい。</p>	<p>【市長】                      デジタルの対話ツールでも、コミュニケーションスキルが必要で、例えば「（笑）」という文字も、使うタイミングで相手にどう伝わるかを意識して使わなければ、意図しない表現となり難しい。感情を伝えることが一番難しいのが、このようなデジタルの対話ツールだと思う。感情的になりそうな話では特に言葉が強くなりがちであり、受け取る側に直接的に発せられるので、発信側の想像以上にインパクトがある。                      SNSにはそのような特性があることを十分に理解した上でツールを利用する力を学生のうちに身に付けてほしい。                      私は、相手の表情を見て対話することを大切にしている。                      どうしたら、気持ちがやわらかくなるかなど、ネゴシエーション能力、コミュニケーション能力を身に付けておくと、社会に出たときに即活用できるので、ぜひ頑張してほしい。</p>	市民局	広聴課
4	<p>熊本地震の際に、自分も益城や木山でボランティアを続けていた。                      熊本市は、5つの「復興重点プロジェクト」を掲げ復興に取り組んでいるが、市長が考えている復旧・復興の終着点はどういうものか。</p>	<p>【市長】                      何をもって復興したというかについての問いかと思う。                      なかなか元の状態に戻らない中ではあるが、仮設住宅やみなし仮設住宅にお住まいの方々が恒久的な住まいで暮らすようになり、落ち着いた生活ができるようになることが最低限必要なことだと考えている。それと同時に、震災前よりも少し良くなってきたなと感じてもらえる環境をつくるのが大事だと思う。                      仕事が元に戻る、住居が元に戻る、新たな仕事や住まいが見つかるなど、前向きになっている人の割合が多いかが大事なことだ。                      辛い思いをしている人たちの救済のためには公的な力も大事だと思うが、それと同時に、それだけでは埋められない心の復興のようなことを、ボランティアの皆さんや地域の方々も合わせ一緒になって埋めていくことが大切だ。それがコミュニティの役割だと思う。                      地震の影響などで以前のコミュニティとは違う場合であっても、新しいコミュニティの中で生きがいを持って生活ができるようになっていけるかどうか、復興の大事なポイントだと思っている。</p>	政策局	政策企画課 復興総室

「ドンドン語ろう！with大学生」 平成29年11月12日 熊本学園大学 意見交換内容 参加者：12名

No.	ご意見	回答	局	担当課
5	地震発生後、さまざまな問題があったと思うが、地震をきっかけに何か好転したことはあるか。	<p>【市長】</p> <p>一人のできることは多くないことを、皆が自覚したということだと思う。「おたがいさま」であり、「おかげさま」であり、そういう社会であることを、厳しい震災の中で気付くことができたのではないだろうか。</p> <p>行政職員が、初めは「食糧や水が来ない」と苦情を言われて疲弊していたが、その中でも、多くの方々から「ありがたい」と言っていたき、人と人のつながりの大切さを実感した。誰か困っている人を助けようという気持ちの大切さに気付いたことが一番良かった。</p> <p>だからこそ、私は、復興元年である今年を、地域づくり、まちづくりということにこだわって、始めようと思った。</p> <p>コミュニティは簡単にできるものではないが、大切さが見えてきた今だから、時間はかかっても、少しずつ取り組んでいきたいと思っている。</p> <p>次に、行政、個人、地域が、それぞれの限界を知ったということだ。</p> <p>例えば、震災時には物資が足りないし、行政も最初の数日間届けることができない。となると、地域や個人で、まず数日間耐えられる程度の備蓄をし、備蓄があれば隣の人を助けることができるのだと気づく。このように、限界とともに個人の力でもできることがあるのだということを学べたことが、良かったことだと思う。</p>	政策局	復興総室 危機管理防災総室
6	2019年のNHK大河ドラマは、熊本出身の金栗四三さんを題材とした「いだてん」ということだが、これを通して熊本を全国にアピールするイベントなどを考えているか。	<p>【市長】</p> <p>2019年という年は、熊本市にとってとても大切な年になる。</p> <p>NHK大河ドラマは、2018年が「西郷どん」、2019年が金栗四三さんを取り上げた「いだてん」である。</p> <p>熊本には熊本城マラソンやはるかぜマラソンなどがあり、体を動かして健康になるという機運が高まってきているが、その中で2019年に熊本でラグビーワールドカップと女子ハンドボール世界選手権が開催される。このようなことから、2019年は「スポーツ」が復興につながるテーマのひとつとなるのではと思っている。</p> <p>熊本城マラソンの種目の一つに、金栗四三さんの冠がついた金栗記念熊日30キロロードレースという歴史あるレースがあり、郷土の偉人を改めて知るよい機会になる。スポーツは心の復興にもなり、見ているだけでも勇気をもらえ、応援する楽しみもある。</p> <p>金栗四三さんに関するものを熊本城マラソンのプレイベントなどで披露するという企画があるが、他のイベントと繋がるようにしていきたいと思う。繋げることで、翌年のオリンピックがまた盛り上がっていく。今年の平昌オリンピックに向けた強化合宿として下肢に障害のある方のパラアイスホッケーの事前合宿がアクアドームであることが決まっている。このように、熊本で開催されないイベントとも連動していく。</p> <p>スポーツを通して熊本を盛り上げ、そして復興のきっかけにしていきたい。</p>	経済観光局	観光政策課 イベント推進課 スポーツ振興課

「ドンドン語ろう！with大学生」 平成29年11月12日 熊本学園大学 意見交換内容 参加者：12名

No.	ご意見	回答	局	担当課
7	<p>上通り、下通り付近の狭い路地を歩行者天国にしてほしい。理由は、上乃裏通りに良く行くが、住宅や店舗が混在しており、道も狭く、危険な箇所が多いからだ。</p>	<p>【市長】                      並木坂などは一方通行で、日ごろから危ないとは思っている。街中の交通網をどうするかは大事なことだと思っており、お店などにはいろんな物を運ぶ必要があるが、交通量が減るとなると物流が止まることになるので、その兼ね合いが大事。例えば関係車両だけは通行可能とするような方法もあるかもしれない。                      できれば、まちなかでは車ではなく歩くことを推進していきたい。広町辺りから、上乃裏～上通り～下通り～サンロード新市街～桜町まで往復すると3キロメートルくらいある。熊本の人には歩かないなと感じる。まちなかを安全に歩けるようにすること、公共交通機関を充実させることが大切である。                      例えば、植木駅から熊本駅までJRでは11分程度であるが、国道3号線を車で行くとなると1時間は見ておく必要がある。つまり、電車は大量に速く輸送できる手段である。熊本では、車で行くのが便利と思っているが、実は電車のほうが速い、便利だと気付いてもらいたい。熊本駅や桜町はターミナルなので、バスを利用していただけたらと思う。                      例えば市電を子飼橋まで延伸して、菊池電車とクロスするとなると非常に便利になると思う。ヨーロッパでは軌道上を車が走るところもあり、本市でもその研究をしているところ。今、高齢者の方で免許証を返す人が増えているが、返したら出せない、孤立する人が増えるという構図になる。これは社会的にも良くない。これから10年、15年先を見据えて考えなければ、間に合わない。10年後の熊本は車がなくても便利になったと思える時代になるよう、今から基盤をつくっていくことを考えている。</p>	都市建設局	交通政策課  都心活性化推進課  道路整備課
8	<p>熊本市西区や熊本港周辺におしゃれな商業施設や若者向けの施設などをつくってはどうか。何か今考えている案はあるか。</p>	<p>【市長】                      熊本市中心部から熊本港までは、距離的に遠く、交通機関も少ないことは課題だと思っている。熊本港あたりでは、地域の団体が花火大会などを開催されたりしている。おしゃれな店舗もできたが成り立っていないという現実もある。現時点で再開発をする考えはないが、熊本港の利用は実際増えてきており、貨物や物流が増えていけば少しは変わっていくのかなと思う。                      次にアクセスの問題がある。西熊本駅ができたが、その周辺は熊本駅まで一駅であるため数分で行き来できる。さらに、熊本駅前は今と数年で様変わりする予定であるため、アクセスの面でも便利になり、西区は駅の再開発によっても変わっていくだろう。区画整理があつて住宅も増えていくと思う。                      港のことについては、県の管轄なので、県と協議し連携していく。</p>	西区役所  経済観光局  都市建設局	総務企画課  西部まちづくりセンター  産業振興課  熊本駅周辺整備事務所

「ドンドン語ろう！with大学生」 平成29年11月12日 熊本学園大学 意見交換内容 参加者：12名

No.	ご意見	回答	局	担当課
9	<p>熊本城ホールとその周辺に商業施設が新たにできると聞いたが、若者をターゲットにした店舗などを誘致すればまちなかが活性化するのではないかと考えるが、どのように考えているか。</p>	<p>【市長】 再開発ビルには熊本初出店の店も入ると聞いている。私がリクエストしているのは、まちなかの商店街と競合しないようにしてほしいということである。選択枝は多様であったほうがいい。 例えば、東京の良さは、いろんなものがあることだが、東京はまちが大きいため疲れる。東京などと比べて、熊本はコンパクトにまとまっているので、移動時間を考えれば熊本は大変便利だと言う人もいる。熊本のそういうコンパクトさを活用して、新しいお店が入ることは大事だ。 経済学部にいるのなら、再開発会社などに大学生が求めている店について、アンケートをとったり提案書を作るなりして、提案してみてもどうか。そうすれば、再開発会社も若者のニーズの把握に繋がる。 若者が行きたいと思うような場所がいいと考えているが、まちなかに若者もいるが高齢者も楽しめるという状態がいい。高齢者の方も音楽やファッションに影響を受けてきた方々なので、幅広い年齢層が楽しめるようなさまざまなお店が入ってくることを期待している。そういうことができれば、東京や福岡に行かなくてもよいのではないかと思う。</p>	都市建設局	都心活性推進課
10	<p>車社会でなく、歩く社会にしていきたいとの考えを伺ったが、観光客もよく歩く機会があると思う。 最近アメリカのニューヨークとロサンゼルスに行ったが、海外の方はフリーWifiをよく利用される。熊本城などWifi設置場所もあるが、熊本市も今後迎えるグローバル社会においては、ネット環境を改善する必要があると思う。 また、海外からの観光客に熊本城はどこですかと尋ねられたことがあり、外国人の方向けの標識案内やガイドさんを増やす必要があるかなと感じたが、そういうことについてお考えをきかせてほしい。</p>	<p>【市長】 熊本にも「熊本フリーWifi」がある。より使いやすくするため、熊本県、熊本市、NTTと一緒に利便性の高いものにしようと考えている。 先日ドイツに行って思ったことは、Wifiの整備はされているが回線速度が遅いということだ。そうはいつでも、フリーで使えることは便利であり、ツイッターやフェイスブックなどへの写真の投稿やメッセージの受け取りなどがストレスなくできる程度の環境をつくることは大事だと考えている。 桜町再開発では、一帯が歩行者天国になるが、フリーWifiのエリアについてもいくつかポイントを絞って、利便性を高くする必要がある。例えば、広場で、あるいはちょっと休憩したときに、Wifiを使える場所があるといい。 また、サイン標示を多言語化してわかりやすくしていくことが大切で、熊本城では、各要素所で新しいサインができていて、大変評判が良い。QRコードに携帯をかざすと情報がでてくるなどさまざまな工夫をしている。使う人が増えてくれれば要望も増え、改善につながる。 学生の皆さんがマーケティングチームなどをつくってリサーチし、行政に提案してみてもどうか。これからは、エビデンスベースとポリシーメイキングが大事。どの国の観光客が多いのかなどビッグデータを分析、活用して、観光客をどの程度増やすかなどの政策を作っていくことが大事だ。ぜひ、案内版やサイン標示において、こういうところが足りないということなどを調べて、行政に提案してほしい。提案が政策になり、市民や観光客のためになるといいと思う。 就職も、できれば熊本でしていただきたいと思う。皆さんの本音を聞くことが大事だと思っていて、雇用政策において学生のマーケティングをすることは有効だと思う。経済・雇用担当をしている部署とディスカッションしてみるのもいいのではないかと。</p>	経済観光局 総務局	観光政策課 情報政策課

「ドンドン語ろう！with大学生」 平成29年11月12日 熊本学園大学 意見交換内容 参加者：12名

No.	ご意見	回答	局	担当課
11	<p>キャッシュレスがもっとあればいいなと思う。 外国人や地域の方も現金を持たずに買い物ができ、住みやすい環境になるのではないかなと思う。 また、歩く社会を目指すために、ヨーロッパのように自転車の乗り捨てなどもできれば便利になるのではないかなと思うが、何かお考えはあるか。</p>	<p>【市長】 キャッシュレスについては、自分もクイックペイやスイカなどを利用しており、これから重要になってくると思う。東京では熊本よりも普及しており、空港など外国人観光客にとっても便利だと思う。 本市でも市電やバスで交通系カードが使える。便利な社会をつくっていくことは大事だと思う。 また、自転車のレンタサイクルなどは、ヨーロッパでよくやっていることだ。熊本市でも以前導入していたが、実証実験をしてみたところあまり使われないのでやめたという経緯がある。 駅や、まちなかの開発が進んでいけば、そこに近いエリア、例えば藤崎宮前駅からワンコインで、あるいはカードをかざして自転車を借りるなど、そのようなことを今後検討していこうと考えており、公共交通とセットで考える必要があると思う。</p>	<p>経済観光局 都市建設局</p>	<p>商業金融課 交通政策課</p>